

A close-up photograph of a newborn baby being held in someone's hands. The baby is lying down, eyes closed, and appears to be sleeping or resting. The hands holding the baby are visible, with a ring on the ring finger of the hand on the right. The background is softly blurred, showing a light-colored, textured fabric, possibly a blanket or a piece of clothing. The overall tone is warm and gentle.

群馬県こどもまんなか 推進プログラム

令和8年3月



こどもまんなか推進プログラム 4つのテーマ

- こどもまんなか推進プログラム骨子では、少子化の主な要因となっている有配偶率と有配偶出生率等に着眼し、これと相関が認められるデータと県民の声を基にこども施策で対処する課題を分析
- 「誰一人取り残さず、すべてのこどもと家庭が幸福を実感できる社会」を目指す4つのテーマに整理

01 群馬の未来を担う若者の育成

ICTを活用し学びの機会を拡大するとともに、非認知能力の育成に取り組みます。また、希望に応じた働き方を選択できる環境整備など若者が希望を持てる社会を目指します。

- ICTの活用による学びの機会拡大
- 非認知能力の育成
- 希望に応じた働き方を選択できる環境整備

03 子育て世帯の負担軽減

妊娠・出産・教育・医療・住居等の様々な不安の解消や負担の軽減に取り組み、誰もが暮らしやすい地域の実現につなげていきます。

- 安心して妊娠・出産できる環境整備
- 育児にかかる手続きの簡略化
- こどもが地域で育まれる環境の充実

02 全てのこどもの幸福度向上

多様な支援ニーズを持つ全てのこども・子育てを切れ目なく支援し、こどもが健やかに育つという安心感を地域とともに育みます。

- こどもが安心して過ごせる居場所づくり
- 育ちに大きな影響を与える保育の質の確保
- 外国にルーツを持つこどもが輝く仕組みづくり

04 社会全体の意識・構造改革

地域や社会全体でこどもや子育て世代を応援するとともに、労働環境を改善し、誰もが暮らしやすいと感じる風土・機運を醸成していきます。

- 家庭と仕事の両立
- 家事・育児分担の推進
- 移住先としての群馬県の子育て環境のPR

こどもまんなか推進プログラムについて

～こども・子育て施策を持続的に強力に推進するために～

部局を横断した 子育て施策の推進

各部局の垣根を越えた課題の共有や施策の検討によって、制度や組織の狭間に埋もれがちなこどもたちや子育て世帯への支援を検討

複合的な社会課題に対して こども施策起点のアプローチ

各部局の施策にこども施策の要素を付加し施策効果を高めることや、複合的な行政課題にこども施策を起点としたアプローチで検討

「今のリアルな声」をしっかりと

“こども・若者の声”をしっかりと聴き、ぐんまこどもビジョン2025計画期間中(5年間)に生じた新たな課題についても、スピード感を持って対応

全庁一丸となって、新たな群馬モデルとなる
こども・子育て施策群「こどもまんなか推進プログラム」の構築
毎年度アップデート

こどもまんなか推進プログラムアップデート R8年度掲載事業一覧



01 群馬の未来を担う若者の育成

- ・群馬デジタルレノベーションチャレンジ
- 【新】MAITSURU×tsukurun Project!
- ・デジタルクリエイティブ人材育成 (tsukurun・TUMO Gunma)
- ・群馬県公立学校1人1台端末等整備
- ・教育DX推進自走支援
- ・高校生リバースメンター
- ・グローバル始動人テイクオフ
- ・アート教育 (群馬パーセントフォーアート推進)
- ・インディアナポリスこども博物館交流
- ・ぐんまプレキッズ・ぐんまスーパーキッズプロジェクト・ぐんまスタージュニアプロジェクト
- 【新】パラスポーツ普及加速化支援
- ・ジュニア選手海外派遣支援
- ・スポーツチームの選手等を講師としたスポーツ教室
- 【新】Life Design & Gender Lab)
- ・環境学習
- ・尾瀬ネイチャーラーニング (STEAM教育)
- ・非認知能力の評価・育成
- 【新】SAH+ (自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成 スチューデントエージェンシーハイスクール)
- ・ぐんま留学・国際交流
- ・ライフデザイン支援
- ・高校生向けオフィスツアー
- ・(企業認証制度運営)

02 全てのこどもの幸福度向上

- ・「県広報番組の制作・放送」(子育て応援番組)
- ・ぐんまちゃんYouTube動画制作・配信
- ・ぐんまちゃん劇団公演開催
- ・ぐんまちゃんこども支援プロジェクト
- ・上毛かるたプロジェクト
- ・【新】ぐんまこどもの国児童会館再整備
- ・県営住宅の空きスペースを活用したこどもの居場所づくり
- ・プロスポーツチーム等と連携したこどもの居場所づくり・体験創出モデル
- ・ぐんまの食材でこども食堂応援
- ・朝のこどもの居場所づくりモデル
- ・こどもの居場所づくり推進
- ・こどもの生活・学習支援
- 【新】子ども・若者総合相談センター運営
- ・医療的ケア児等支援センター
- ・こどもアドボカシー
- ・ヤングケアラー支援推進
- ・ケアリーバー支援推進
- 【新】難聴児早期支援体制整備
- 【新】移行期医療支援センター設置
- ・学校給食への有機農産物利用促進
- 【新】学校給食へのこんにやく提供
- ・学びと家庭のサポート (スクールソーシャルワーカー配置)
- ・心と学びのサポートセンター「つなぐん」運営
- ・低年齢児保育施策の充実
- ・保育士・保育所支援センター運営
- ・「やさしい日本語」普及
- ・多文化共生イベント「からっかぜパーク」
- ・外国人児童生徒等教育充実総合対策

03 子育て世帯の負担軽減

- ・妊産婦メンタルヘルス支援
- ・先天性代謝異常等検査
- ・女性健康支援センター設置
- ・思春期保健対策支援
- ・周産期・小児医療体制整備
- ・麻しん・風しん抗体検査
- ・小児医療センター再整備
- ・子ども医療費補助(医療費助成の受給者証とマイナ保険証の一体化)
- ・こどもデマンド(こども向け送迎タクシー)
- ・民間プラットフォームを活用した学用品負担軽減
- 【新】ぐんまゼロ宣言住宅促進
- ・子育て世帯に優しい県営住宅の管理・活用

04 社会全体の意識・構造改革

- ・家庭内での家事・育児分担等の推進
- 【新】Life Design & Gender Lab
- ・女性医師等就労環境整備・保育支援
- ・働く女性の活躍推進
- ・企業認証制度運営
- ・働き方改革推進(魅力ある職場づくり)
- ・IT人材育成×女性就労支援
- ・ぐんま暮らしブランド化推進

掲載事業数 68本

R8当初予算額 4,600,797千円

掲載事業数 48本

R7当初予算額 7,347,218千円

MAITSURUプロジェクト

こどもたち一人一人が大切にされ、全ての人がこどもの育ちを支える社会を目指して

— こども・子育て施策を社会課題解決のエンジンに —

群馬の未来を担う若者の育成

01

“日本最先端クラスのデジタル県における人材育成”

- こどもたちを対象に、県独自の人材育成拠点「tsukurun」と、国際的に評価の高い人材育成プログラムをアジアで初めて導入した「TUMO Gunma」によって、こどもたちが群馬県のどこで育っても、家庭の経済状況に関係なく、無料で、最先端のデジタルクリエイティブを習得できるよう、デジタルクリエイティブ人材育成施設のネットワークを拡大し、日本一のデジタルクリエイティブ人材輩出県を目指す。
- ICTリテラシーやデジタルツールを適切かつ効果的に活用した情報の収集、分析、自らの考えを発信する活動等を通じて、すべてのこどもの未来を切り拓く力を育む。
- 将来の進路選択や、県内で働く魅力について理解を深める高校生向けオフィスツアーの実施、県内で働く社会人自ら「マイヒストリー（それぞれの人生チャート）」を語りかけ、高校・大学生からの質問に答えるライフデザインワークショップの展開で、学校教育では得がたい実践的な学びと、自らの人生設計を考える機会を提供する。
- 生徒が学校のあらゆる場面で「自ら考え、判断し、行動する力（エージェンシー）」を発揮できるよう、支援体制の充実や情報共有の仕組みを講じ高校魅力化及び発信力の強化事業により環境を整備する。



02

全てのこどもの幸福度向上

“アップデートされた育ちの環境でこどものウェルビーイング向上”

- 県内プロスポーツチーム等との連携や、県営住宅集会所の改修による学習の場の提供、朝の居場所確保等により、場所・時間・人とのつながりを重視した群馬県ならではの質の高い「居場所づくり」を推進する。
- 子どもや若者が日常の中で感じる不安や戸惑い、悩みや困難に対する総合相談窓口を設置するとともに、多機関と連携した支援をコーディネートする。
- 幼児期は、しっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成によって人生の確かなスタートを切るための最も重要な時期。低年齢児の保育環境充実に投資し、群馬県で育つこどもの将来にわたる高いウェルビーイングの基礎を築く。
- 自宅のPCから学習や教育相談、集団の活動に参加できる「つなぐんオンラインサポート（つなサポ）」により、様々な理由で長期欠席している児童生徒が自分のペースで学びをオーダーメイドできる場を提供する。
- 多文化共生イベントを通じこどもの頃から多文化に触れる機会を提供。多文化関連ブース出展や世界各国のダンス等のステージ披露を通して、共に生きる仲間として、多文化共生への理解を深める取り組みを進める。



こどもたち一人一人が大切にされ、全ての人がこどもの育ちを支える社会を目指して

— こども・子育て施策を社会課題解決のエンジンに —

子育て世帯の負担軽減

03

“全国トップクラスの子ども医療費無料化制度 と連結する充実の母子保健+周産期・小児医療体制” “切れ目のない負担軽減施策による子育て不安の解消”

- ・ 県内全域で高校生世代までを対象とした子ども医療費無料化は、「所得制限なし」、「自己負担なし」、「窓口での立替払いなし」の全国で最も手厚く使いやすい制度。
- ・ 子ども医療費無料化制度の下、**県立小児医療センターの再整備**や**新生児の先天性疾患への対応など周産期・小児医療体制の強化と産前・産後ケアの充実**により、全国NO.1の体制で群馬のこどもの誕生を支える。
- ・ 県立小児医療センター移転にあわせて、**北毛地域の周産期・小児医療体制を確保**する。
- ・ 妊娠を希望している女性とその同居者のほか、**0歳児の同居者と妊婦の同居者を対象にした麻しんの抗体検査**を行い、麻しん定期接種前の**0歳児の感染による健康被害を防止**する。

社会全体の意識・構造改革

04

“働きやすい、暮らしやすい、育てやすい” “選ばれ続ける仕掛けづくり”

- ・ 子育てや働き盛り世代からの人気が高く、群馬県は移住希望地ランキングで20代から50代の各年代で1位。※「**転職なき移住**」の適地として高評価。※2024年
- ・ こどもを中心に据えた親子テレワーク移住体験事業「**保育園留学**」によって、**豊かな自然環境や東京との近接性、恵まれた住環境**といった群馬県の暮らしの魅力を内外に示し、**子育て・若者世代に選ばれ続ける地域**を目指す。
- ・ 企業認証制度や企業向けセミナーの実施により、**働きやすく、働きがいのある魅力的な職場環境整備**を行う。
- ・ 若い世代が将来に希望を持ち、自らのライフデザインを主体的に描けるよう、**仕事や家庭で直面しやすいジェンダー課題を学び、解決策を検討するプロジェクト**を大学と連携して行う。



スタート！ こどもの誕生前～乳幼児期～はじめの100か月のこどもにやさしい環境

妊産婦



- 周産期・小児医療体制整備
- 妊産婦支援体制強化
- 麻しん・風しん抗体検査

こどもの誕生



- 先天性代謝異常等検査
- 家庭内での家事・育児分担等の推進
- 子育て世帯に優しい県営住宅の管理・活用
- 難聴児早期支援体制整備

幼児期



- 低年齢児保育施策の充実
- 県広報番組の制作・放送（子育て応援番組）
- ぐんまちゃん劇団公演・YouTube

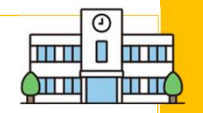
若者・青年期・次世代へ

- IT人材育成×女性就労支援 MAITSURUプロジェクト
- 子育て世代の移住を促進
- Life Design & Gender Lab

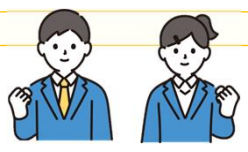
こどもビジョン2025
目指す社会の姿

こどもたち一人一人が大切にされ、全ての人がこどもの育ちを支える社会
～未来を創る好循環～

小1の壁



- 朝のこどもの居場所づくり
- 県営住宅の空きスペースを活用したこどもの居場所づくり



高校生

- デジタルクリエイティブ人材育成
- ぐんま留学・国際交流
- SAH+
- 高校生向けオフィスツアー

多様なニーズを抱えるこども

- こどもアドボカシー
- 心と学びのサポートセンター「つなぐん」運営
- 外国人児童生徒等教育充実総合対策
- スクールソーシャルワーカー配置
- 子ども・若者総合相談センター運営



学童期・思春期



- デジタルクリエイティブ人材育成
- 非認知能力の評価・育成
- 県公立学校1人1台端末等整備
- 思春期保健対策支援

すべてのこどもが安心して健やかに成長できる環境



目指すところ - こども・子育て施策を社会課題解決のエンジンに -

真に「切れ目のない支援」に向けて

R7



R8



R9



R11

こどもまんなか
推進プログラム
運用開始

ライフステージを通じた
「切れ目のない支援」

- ・進捗管理
- ・予算確保
- ・プログラム更新

「ぐんまこどもビジョン2025」(R7~11)

こどもまんなか
推進プログラムアップデート

R7以降に生じた新たな課題についても、
“こども・若者の声”をしっかりと聴き、プログラムをアップデートして
切れ目なく支援

(ぐんまこどもモニター、こどもアドボカシー、高校生リバースマンター、
ぐんまこどものみらい県民会議など)

群馬県こども計画 **ぐんまこどもビジョン2025**の
目標達成を強力に推進



こどもまんなか推進プログラム掲載事業 (1 / 10)

01 群馬の未来を担う若者の育成

ICTを活用し学びの機会を拡大するとともに、非認知能力の育成に取り組みます。また、希望に応じた働き方を選択できる環境整備など若者が希望を持てる社会を目指します。

| 施策の方向性 | 事業名 | R8当初予算額 (千円) | 事業内容 | 所属 |
|-------------------|--|-----------------|--|-------------------|
| ①ICTの活用による学びの機会拡大 | 群馬デジタルイノベーションチャレンジ | 20,630 | DXの発想やデジタルスキルを活用して地域課題の解決や新たな価値を生む人材(デジタル人材)を育成するとともに、こどもを取り巻く環境に関わらずデジタルスキルを学ぶ機会の平等を図る。 | デジタルトランスフォーメーション課 |
| ①ICTの活用による学びの機会拡大 | MAITSURU×tsukurun Project! | 6,000 | 本格的なキャリア選択前の女子中高生及びその保護者に対し、tsukurunと連携して、デジタルスキルを活かして働く女性ロールモデルとの交流及びデジタル体験機会を提供することで、将来的な女性デジタル人材の育成及び就労を支援する。 | 労働政策課 |
| ①ICTの活用による学びの機会拡大 | デジタルクリエイティブ人材育成 (tsukurun・TUMO Gunma) | 458,612 | 県独自の人材育成拠点「tsukurun」と、国際的に評価の高い人材育成プログラムをアジアで初めて導入した「TUMO Gunma」により、日本一のデジタルクリエイティブ人材輩出県を目指す。 | eスポーツ・クリエイティブ推進課 |
| ①ICTの活用による学びの機会拡大 | 群馬県公立学校1人1台端末等整備 | 1,579,129 | 令和6年度からの5か年で、GIGAスクール構想において調達した1人1台端末を更新するにあたり、更新経費の補助等を行う。 | (教)総務課 |
| ①ICTの活用による学びの機会拡大 | 教育DX推進自走支援 | 41,217 | 「校務DXの推進」と「デジタルクリエイティブ人材育成の推進」により、市町村DX自走体制構築を目指す。 | (教)総務課 |
| ②非認知能力の育成 | 高校生リバースメンター | 5,000 | 高校生を知事のリバースメンターとして10名程度任命し、県政の課題や問題意識等を共有した上で、高校生ならではの斬新な発想をもとに知事へのアドバイス・政策提言等を求める。 | 戦略企画課 |
| ②非認知能力の育成 | グローバル始動人テイクオフ | 17,063 | 米国インディアナ州との学生相互交流や国際理解講座等を通して、国際的に活躍するグローバル人材を育成する。 | 地域外交課 |
| ②非認知能力の育成 | アート教育 (群馬パーセントフォーアート推進) | 7,800 | ①こどもたちにアートに触れる機会を創出するため、学校にパブリックアートを設置(モデル実施) ②学校等におけるラーニングプログラムを実施 ③県立美術館等と連携し、美術館での発表・展示を行う。 | 文化振興課 |



こどもまんなか推進プログラム掲載事業 (2/10)

01 群馬の未来を担う若者の育成

ICTを活用し学びの機会を拡大するとともに、非認知能力の育成に取り組みます。また、希望に応じた働き方を選択できる環境整備など若者が希望を持てる社会を目指します。

| 施策の方向性 | 事業名 | R8当初予算額 (千円) | 事業内容 | 所属 |
|-----------|--|-----------------|--|---------|
| ②非認知能力の育成 | インディアナポリスこども博物館交流 | 5,119 | インディアナポリスこども博物館と県立自然史博物館の連携を推進し、こどもたちを主役とした交流事業を実施する。 | 文化振興課 |
| ②非認知能力の育成 | ぐんまプレキッズ・ぐんまスーパーキッズプロジェクト・ぐんまスタージュニアプロジェクト | 55,100 | 運動能力に優れた小学生を早期発掘し、専門的なトレーニングを行うことにより、全国大会や世界で活躍するスポーツ選手の誕生を目指す。プレキッズ事業は種目を限定せずに小学3年生向け（北毛地区と中毛地区でプロチーム活用）、スーパーキッズ事業は、小4～6年生向けに各競技ごとに実施し、スタージュニア事業は、中学生向けに、より充実した一貫指導を行う。 | スポーツ振興課 |
| ②非認知能力の育成 | パラスポーツ普及加速化支援 | 7,000 | スポーツを通じた共生社会実現に向けて、パラアスリートが講師を務めたワークショップ型の授業を県内の小学校で展開するとともに、パラスポーツにかかる体験プログラムを実施する。 | スポーツ振興課 |
| ②非認知能力の育成 | ジュニア選手海外派遣支援 | 25,000 | 群馬県の中学生・高校生選手が、海外のスポーツチームや選手と交流することで世界レベルの競技力や文化に触れる機会を創出する。海外のトップレベルの技術を身に着けることと、将来、国際舞台で活躍するための高い意識を早期から獲得することを目的に、競技団体が実施する海外遠征費を支援する。 | スポーツ振興課 |
| ②非認知能力の育成 | スポーツチームの選手等を講師としたスポーツ教室 | 1,200 | プロスポーツチーム等の選手やスタッフを講師としたこどもを対象とするスポーツ教室の実施に要する経費を補助する。 | スポーツ振興課 |
| ②非認知能力の育成 | Life Design & Gender Lab ※テーマ4を兼ねる | 3,452 | 大学の授業時間等を活用し、性別による固定的役割分担意識、家事・育児分担推進などの男女共同参画に関する課題を見つけ、解決策を検討するプロジェクトを行う。 | 生活こども課 |
| ②非認知能力の育成 | 環境学習 | 3,501 | 小・中学校等で行われる環境学習を支援するため、移動環境学習車による「動く環境教室」を実施。 | 環境政策課 |



こどもまんなか推進プログラム掲載事業 (3 / 10)

01 群馬の未来を担う若者の育成

ICTを活用し学びの機会を拡大するとともに、非認知能力の育成に取り組みます。また、希望に応じた働き方を選択できる環境整備など若者が希望を持てる社会を目指します。

| 施策の方向性 | 事業名 | R8当初予算額 (千円) | 事業内容 | 所属 |
|----------------------|--|-----------------|--|----------|
| ②非認知能力の育成 | 尾瀬ネイチャーラーニング (STEAM教育) | 39,969 | 県内外の小中学校等がSTEAM教育を実践し、尾瀬において環境学習を実施する場合、その経費(ガイド・バス料金)の一部を補助。 | 自然環境課 |
| ②非認知能力の育成 | 非認知能力の評価・育成 | 26,514 | 非認知教育専門家委員会の助言を得ながら、指定校の実践や海外の先進事例の知見などから、令和8年度末までに群馬モデルを作成する。 | (教)総務課 |
| ②非認知能力の育成 | SAH+ (自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成 スチューデントエージェンシーハイスクール) | 5,100 | 生徒が学校のあらゆる場面で「自ら考え、判断し、行動する力」を発揮できる環境を整えることを目指す。令和10年度までに、県立高校59校すべてでSAHの取組が定着し、学校の魅力が内発的に高まり、県民に選ばれる魅力的な高校像を確立する。 | (教)高校教育課 |
| ②非認知能力の育成 | ぐんま留学・国際交流 | 31,210 | 探究活動を伴う留学支援事業である「GUNMAグローバル人材育成事業」を充実させ、留学・国際交流を促進し、群馬県にイノベーションを起こすことができるグローバル人材を育成していく。 | (教)高校教育課 |
| ③希望に応じた働き方を選択できる環境整備 | ライフデザイン支援 | 3,992 | 若者が将来に主体的な意識を持ち、多様な生き方を描きながら、自らの人生を前向きに設計できる社会の実現のためのワークショップの実施。 | 生活こども課 |
| ③希望に応じた働き方を選択できる環境整備 | 高校生向けオフィスツアー | 6,046 | 県内就職促進を目的として、県内高校生に対し、県外進学前に県内企業を知る機会の創出と企業の人材確保を支援する。 | 労働政策課 |
| ③希望に応じた働き方を選択できる環境整備 | 企業認証制度運営 ※テーマ4を兼ねる | 2,540 | 育児・介護と仕事の両立や職場における女性の活躍推進、従業員のワーク・ライフ・バランスの実現等に取り組む企業を認証し、働きやすい職場環境づくりを後押しする。 | 労働政策課 |



こどもまんなか推進プログラム登載事業 (4 / 10)

02 全てのこどもの幸福度向上

多様な支援ニーズを持つ全てのこども・子育てを切れ目なく支援し、こどもが健やかに育つという安心感を地域とともに育みます。

| 施策の方向性 | 事業名 | R8当初予算額 (千円) | 事業内容 | 所属 |
|---------------------|----------------------------|-----------------|--|-------------------|
| ①こどもが安心して過ごせる居場所づくり | 県広報番組の制作・放送(子育て応援番組) | 72,200 | 子育て世帯が楽しめる教育エンターテインメント番組を委託事業により制作し、テレビ放送するとともに、配信サービスを活用して県内外に発信する。 | メディアプロモーション課 |
| ①こどもが安心して過ごせる居場所づくり | ぐんまちゃんYouTube動画制作・配信 | 28,000 | 子育て世代に人気の「ぐんまちゃん」を活用して、未就学児向けの楽しい音楽動画「劇団ぐんまちゃん♪」を制作し、YouTubeで公開することで、誰でも気軽に良質な音楽アートコンテンツに触れられる環境を提供する。 | エンターテインメント・コンテンツ課 |
| ①こどもが安心して過ごせる居場所づくり | ぐんまちゃん劇団公演開催 | 22,000 | YouTubeチャンネル「劇団ぐんまちゃん♪」のファミリー向けコンサートを開催し、ぐんまちゃん、あおま、みーみ達が、寸劇、童謡や手遊び歌、ダンスなどを中心に実施し、ぐんまちゃんの魅力を広く伝える。 | エンターテインメント・コンテンツ課 |
| ①こどもが安心して過ごせる居場所づくり | ぐんまちゃんこども支援プロジェクト | — | ぐんまちゃんのプロジェクトロゴを使った商品や店頭ポスター・POPなどの販売促進活動を、県にゆかりのある企業と一緒にを行い、その売上の一部を県に寄付していただくことで、県のこども関連施策に役立てる。 | エンターテインメント・コンテンツ課 |
| ①こどもが安心して過ごせる居場所づくり | 上毛かるたプロジェクト | 7,310 | 群馬で育つこどもたちが「上毛かるた」を当たり前前に誦んじられるほど親しむことで、郷土愛が育まれることを目指し、「100万円分の夢を叶えますプロジェクト」等を実施する。 | 文化振興課 |
| ①こどもが安心して過ごせる居場所づくり | ぐんまこどもの国児童会館再整備 | 204,386 | 開館から35年が経過したぐんまこどもの国児童会館について、展示、設備等を改修(リニューアル)する。令和8年度は基本設計・実施設計業務を実施する。 | こども・子育て支援課 |
| ①こどもが安心して過ごせる居場所づくり | 県営住宅の空きスペースを活用したこどもの居場所づくり | 55,731 | 学習支援などのこどもの居場所をつくり、こどもの生活習慣・学習習慣の確立や学習意欲の向上を図る。なお、居場所の提供にあたっては、県営住宅の集会所を修繕し活用する。 | こども・子育て支援課 |



こどもまんなか推進プログラム登載事業 (5 / 10)

02 全てのこどもの幸福度向上

多様な支援ニーズを持つ全てのこども・子育てを切れ目なく支援し、こどもが健やかに育つという安心感を地域とともに育みます。

| 施策の方向性 | 事業名 | R8当初予算額 (千円) | 事業内容 | 所属 |
|---------------------|-----------------------------------|-----------------|---|------------|
| ①こどもが安心して過ごせる居場所づくり | プロスポーツチーム等と連携したこどもの居場所づくり・体験創出モデル | 2,783 | 群馬県に拠点を置くプロスポーツチーム等と連携し、長期休暇中の学童児童(学区児童を含む)を対象としたスポーツ機会等を提供するこどもの居場所づくりモデル事業を実施する。 | こども・子育て支援課 |
| ①こどもが安心して過ごせる居場所づくり | ぐんまの食材でこども食堂応援 | — | JAグループ協力のもと、系列の直売所・スーパー等からロスとなってしまった野菜等をこども食堂へ提供する。 | こども・子育て支援課 |
| ①こどもが安心して過ごせる居場所づくり | 朝のこどもの居場所づくりモデル | 10,000 | 小1の壁の一つである「朝のこどもの居場所」の不足を解消するために、朝の時間帯にこどもが安全に過ごせる居場所を設置する市町村に対し、委託経費等を補助する。 | こども・子育て支援課 |
| ①こどもが安心して過ごせる居場所づくり | こどもの居場所づくり推進 | 8,466 | こどもの居場所を新規で立ち上げる団体への補助や、相談支援、企業等からの提供物資(食材、学習用具等)のマッチングを行う。 | こども・子育て支援課 |
| ①こどもが安心して過ごせる居場所づくり | こどもの生活・学習支援 | 19,433 | 町村部の生活困窮状態にある世帯の小中学生等に対し、居場所の提供や学習支援等を行い、生活習慣・学習習慣の確立や学習意欲の向上を図る。 | こども・子育て支援課 |
| ①こどもが安心して過ごせる居場所づくり | 子ども・若者総合相談センター運営 | 10,183 | 学校や社会生活で生きづらさを感じたり、様々な支援が必要な状況にある子ども・若者に対して、相談対応や総合的な支援のコーディネート等を実施する「子ども・若者総合相談センター」を新たに設置・運営する。 | 私学・青少年課 |
| ①こどもが安心して過ごせる居場所づくり | 医療的ケア児等支援センター | 25,184 | 医療的ケア児等及びその家族が身近な場所において必要な支援を受けられるよう、医療的ケア児等支援センターを運営する。 | 児童福祉課 |
| ①こどもが安心して過ごせる居場所づくり | こどもアドボカシー | 5,695 | 児童の希望や意見を踏まえた処遇の実現のため、児童相談所一時保護所やぐんま学園の入所児童の意見を聴くアドボカシー事業を実施する。 | 児童福祉課 |
| ①こどもが安心して過ごせる居場所づくり | ヤングケアラー支援推進 | 20,040 | ヤングケアラー支援コーディネーター事業を委託し、ヤングケアラーの相談窓口の運営等の支援を行う。 | 児童福祉課 |



こどもまんなか推進プログラム登載事業 (6 / 10)

02 全てのこどもの幸福度向上

多様な支援ニーズを持つ全てのこども・子育てを切れ目なく支援し、こどもが健やかに育つという安心感を地域とともに育みます。

| 施策の方向性 | 事業名 | R8当初予算額 (千円) | 事業内容 | 所属 |
|---------------------|-----------------------------|-----------------|--|----------------|
| ①こどもが安心して過ごせる居場所づくり | ケアリーバー支援推進 | 59,628 | 社会的養護自立支援拠点事業を委託し、社会的養護経験者(ケアリーバー)が相互交流できる場の提供など、自立後の支援を行う。 | 児童福祉課 |
| ①こどもが安心して過ごせる居場所づくり | 難聴児早期支援体制整備 | 21,126 | 難聴児の支援は乳児からの適切な支援が必要であり、早期からの切れ目のない支援が求められる。難聴児と支援機関を繋ぐコーディネーターを配置し、難聴児とその家族に対し適切な情報と支援を提供する。また、軽度及び中等度難聴児への補聴器購入等支援事業の内容を拡充する。 | 児童福祉課 |
| ①こどもが安心して過ごせる居場所づくり | 移行期医療支援センター設置 | 7,441 | 成長に伴い小児科から成人診療科へ受診先を移行する小児慢性特定疾病患者への支援を目的として、群馬県移行期医療支援センターを設置する。患者や家族が安心して成人診療科へ移行できる環境を整備するとともに、医療情報を集約・共有し医療機関の連携強化を図る。 | 感染症・疾病対策課 |
| ①こどもが安心して過ごせる居場所づくり | 学校給食への有機農産物利用促進(食と農) | 2,537 | 県立特別支援学校等の学校給食で、群馬県産有機農産物を利用し、有機農産物の販路拡大及び将来にわたる有機農産物の消費拡大を図る。 | 農政課 |
| ①こどもが安心して過ごせる居場所づくり | 学校給食へのこんにゃくの提供 | 3,500 | 学校給食を提供する県内の全小中学校(義務教育学校、特別支援学校を含む)に、給食食材として「しらたき」を提供し、こんにゃくの消費拡大と食文化の継承を図る。 | 蚕糸特産課 |
| ①こどもが安心して過ごせる居場所づくり | 学びと家庭のサポート(スクールソーシャルワーカー配置) | 43,150 | いじめ、貧困、虐待、ヤングケアラー等、学校内だけでは解決が難しい課題があるため、社会福祉等の専門性を生かして支援を行うスクールソーシャルワーカーを配置し、生徒指導体制の充実を図る。 | (教)義務教育課・高校教育課 |
| ①こどもが安心して過ごせる居場所づくり | 心と学びのサポートセンター「つなぐん」運営 | 26,601 | 児童生徒や保護者、教職員対象の相談窓口「心と学びのサポートセンター『つなぐん』」において、相談を支援につなぐ役割も担う。また、様々な理由で学校を長期欠席している児童生徒が3Dメタバース上にアバターで参加する「オンラインサポート『つなサポ』」において、学習や教育相談、参加者同士の交流の機会を提供する。 | (教)総合教育センター |



こどもまんなか推進プログラム掲載事業 (7 / 10)

02 全てのこどもの幸福度向上

多様な支援ニーズを持つ全てのこども・子育てを切れ目なく支援し、こどもが健やかに育つという安心感を地域とともに育みます。

| 施策の方向性 | 事業名 | R8当初予算額 (千円) | 事業内容 | 所属 |
|------------------------|----------------------------|-----------------|---|-----------------|
| ②育ちに大きな影響を与える保育の質の確保 | 低年齢児保育施策の充実 (保育充実促進費補助) | 204,856 | 県内(中核市除く)の保育所等(保育所及び認定こども園)において、1歳児の保育体制について、1歳児4人につき保育士等を1人配置(4:1配置)を実施している園を補助する(市町村経由)。 | こども・子育て支援課 |
| ②育ちに大きな影響を与える保育の質の確保 | 保育士・保育所支援センター運営 | 15,068 | 潜在保育士の復職支援、現任保育士の定着支援、新卒人材の確保対策により、県内保育所等における保育人材を確保する。 | こども・子育て支援課 |
| ③外国にルーツを持つこどもが輝く仕組みづくり | 「やさしい日本語」普及 | 1,462 | 日本語指導を必要とする児童生徒が在籍する小中学校教職員を対象に、「やさしい日本語」講座を実施。円滑な意思疎通を支援し、児童生徒の日本語理解、学力向上に資する。 | ぐんま暮らし・外国人活躍推進課 |
| ③外国にルーツを持つこどもが輝く仕組みづくり | 多文化共生イベント「からっかぜパーク」 | 5,500 | こどもの頃から多文化に触れる機会を提供するために多文化共生イベントを実施。多文化関連ブース出展や世界各国のダンス等のステージ披露を通して多文化共生への理解促進を図る。 | ぐんま暮らし・外国人活躍推進課 |
| ③外国にルーツを持つこどもが輝く仕組みづくり | 外国人児童生徒等教育充実総合対策 | 281,119 | 市町村による母語支援員配置等の事業に対する財政支援や、散在地域を巡回する教員の配置により、外国人児童生徒等の受入れから指導・支援まで地域差のない一貫した体制の構築、充実を図る。また、外国人児童生徒等教育・心理サポート事業により、母語による電話相談対応やカウンセリング等を行い、外国人児童生徒等が安心して学べる環境を整える。 | (教)義務教育課 |



こどもまんなか推進プログラム登載事業 (8/10)

03 子育て世帯の負担軽減

妊娠・出産・教育・医療・住居等の様々な不安の解消や負担の軽減に取り組み、誰もが暮らしやすい地域の実現につなげていきます。

| 施策の方向性 | 事業名 | R8当初予算額 (千円) | 事業内容 | 所属 |
|-------------------|--------------|-----------------|--|-----------|
| ①安心して妊娠・出産できる環境整備 | 妊産婦メンタルヘルス支援 | 6,280 | R8より拠点病院にコーディネーターを配置し、妊産婦のメンタルヘルスに関する相談業務を開始するとともに、症例検討も実施する。 | 児童福祉課 |
| ①安心して妊娠・出産できる環境整備 | 先天性代謝異常等検査 | 162,765 | 先天性疾患の早期発見・障害予防のため、県内で出生した全ての新生児を対象に血液によるマススクリーニング検査を実施する。公費負担している22疾患に加え、検査・治療体制が確保されている7疾患について、R7年度より公費負担の対象としており、R8年度にはさらに1疾患公費対象に追加して実施する。 | 児童福祉課 |
| ①安心して妊娠・出産できる環境整備 | 女性健康支援センター設置 | 6,588 | 生涯を通じた女性の健康の保持増進を図るとともに、不妊症や不育症、予期しない妊娠や若年妊娠等、身体的・精神的な悩みを抱えた妊産婦等の支援の充実を図る。 | 児童福祉課 |
| ①安心して妊娠・出産できる環境整備 | 思春期保健対策支援 | 4,400 | 思春期にあるこどもたち等の若年世代へ、妊娠・出産や妊孕性(にんようせい)を含めた生涯を通じた健康と性についての正しい知識を普及し、自身の健康について考える機会を提供する。 | 児童福祉課 |
| ①安心して妊娠・出産できる環境整備 | 周産期・小児医療体制整備 | 4,330 | 周産期・小児医療体制の確保を目的に、セミオープンシステムを参考にした産科連携システムの構築や、オンラインを活用した小児医療機関間の連携強化を図る。 | 医務課 |
| ①安心して妊娠・出産できる環境整備 | 麻しん・風しん抗体検査 | 16,612 | 麻しん抗体検査:麻しん定期接種前の0歳児の感染による健康被害防止を目的に、0歳児の同居者と妊婦の同居者及び妊娠を希望している女性とその同居者を対象に抗体検査を行う。 風しん抗体検査:先天性風しん症候群の予防を目的に、抗体価の低い妊婦の同居者及び妊娠を希望している女性とその同居者を対象に検査を行う。 | 感染症・疾病対策課 |
| ①安心して妊娠・出産できる環境整備 | 小児医療センター再整備 | 608,658 | 令和7～8年度にマスタープランに基づいて部門面積や機器・人員配置等を検討する基本設計業務を実施、R8年度から基本設計に基づき、施工方法や使用材料等の詳細を検討する実施設計業務を実施する。 | (病)経営戦略課 |



こどもまんなか推進プログラム登載事業 (9 / 10)

03 子育て世帯の負担軽減

妊娠・出産・教育・医療・住居等の様々な不安の解消や負担の軽減に取り組み、誰もが暮らしやすい地域の実現につなげていきます。

| 施策の方向性 | 事業名 | R8当初予算額 (千円) | 事業内容 | 所属 |
|--------------------|--------------------------|-----------------|---|--------------|
| ② 育児に係る手続きの簡略化 | PMH利活用推進 | 18,311 | こどもが受診時にマイナンバーカードを保険証・医療受給者証として使えるよう、医療機関等に対して改修費用を補助し、子育て環境のDX化を推進する。 | 健康福祉課 |
| ② 育児に係る手続きの簡略化 | 子ども医療費補助(医療DX関係) | - | マイナンバーカードを医療費助成の受給者証として利用できるよう、全市町村に対し調整及び導入支援する。 他県での医療機関受診時も、県内医療機関受診時と同様に窓口負担なく受診できるような仕組みを構築する。 | 国保医療課 |
| ③ こどもが地域で育まれる環境の充実 | こどもデマンド (こども向け送迎タクシー) | - | 市町村の実施するこどもデマンドサービスの技術的な支援を行う。 | 交通イノベーション推進課 |
| ③ こどもが地域で育まれる環境の充実 | 民間プラットフォームを活用した学用品負担軽減 | - | 保護者の教育費負担軽減に向けたリユース品活用の機運醸成を目的に、民間プラットフォームとのハッシュタグを用いた共同キャンペーンのほか、地域における譲渡会等の取り組み周知を行う。 | こども・子育て支援課 |
| ③ こどもが地域で育まれる環境の充実 | ぐんまゼロ宣言住宅促進 | 104,066 | 「温室効果ガス排出量ゼロ」の実現及び県産木材利用の拡大に向け、「ぐんまゼロ宣言住宅」の建築を行う事業者へ支援するとともに、「ぐんまゼロ宣言住宅」を購入する子育て世帯の建築主に支援を実施。 | 林業振興課 |
| ③ こどもが地域で育まれる環境の充実 | 子育て世帯に優しい県営住宅の管理・活用 | - | 「18歳未満の子を扶養する世帯」、「未来づくりパートナー世帯」の入居要件を緩和するとともに、子育て支援住宅の対象範囲を拡大・増設して住戸を確保することで、子育て世帯の支援と若いパートナーが未来を築ける住まいを提供する。 | 住宅政策課 |



こどもまんなか推進プログラム掲載事業

(10/10)

04 社会全体の意識・構造改革

地域や社会全体でこどもや子育て世代を応援するとともに、労働環境を改善し、誰もが暮らしやすいと感じる風土・機運を醸成していきます。

| 施策の方向性 | 事業名 | R8当初予算額 (千円) | 事業内容 | 所属 |
|--------------------------|---------------------------------|-----------------|--|-----------------|
| ①家庭と仕事の両立 ②家事・育児分担の推進 | 家庭内での家事・育児分担等の推進 | 9,376 | 家庭内での家事・育児分担の見直しや効率化を家族で考えるきっかけを作ることで、家庭と仕事の両立を支援するための機運醸成・意識浸透につなげるイベント・セミナーを実施する。令和8年度は新たに次世代への取り組みとして、県内の高校家庭科の授業で活用することができる副読本を制作する。 | 生活こども課 |
| ①家庭と仕事の両立 ②家事・育児分担の推進 | Life Design & Gender Lab | 3,452 | 大学の授業時間等を活用し、性別による固定的役割分担意識、家事・育児分担推進などの男女共同参画に関する課題を見つけ、解決策を検討するプロジェクトを行う。 | 生活こども課 |
| ①家庭と仕事の両立 ②家事・育児分担の推進 | 女性医師等就労環境整備・保育支援 | 22,070 | 県医師会が実施する保育サポーターバンク運営事業に対して補助し、子育てを行う医師が働き続けやすい環境を整える。 | 医務課 |
| ①家庭と仕事の両立 ②家事・育児分担の推進 | 働く女性の活躍推進 | 2,328 | 管理職に占める女性の割合を増加させるため、企業経営者・人事担当者等向けの講演会や交流会等を開催する。 | 労働政策課 |
| ①家庭と仕事の両立 ②家事・育児分担の推進 | 企業認証制度運営 | 2,540 | 育児・介護と仕事の両立や職場における女性の活躍推進、従業員のワーク・ライフ・バランスの実現等に取り組む企業を認証し、働きやすい職場環境づくりを後押しする。 | 労働政策課 |
| ①家庭と仕事の両立 ②家事・育児分担の推進 | 働き方改革推進 (魅力ある職場づくり) | 4,607 | 県内企業における「働きやすさ」や「働きがい」を高める取組を促進するため、経営者や人事労務担当者等を対象に、事例紹介やノウハウを学ぶセミナーを実施する。 | 労働政策課 |
| ①家庭と仕事の両立 ②家事・育児分担の推進 | IT人材育成×女性就労支援 MAITSURUプロジェクト | 16,000 | 求職中又はキャリアアップを目指す女性を対象に、ITスキルの習得、キャリア支援、就労支援を一体的に実施する。 | 労働政策課 |
| ③移住先としての群馬県の子育て環境のPR | ぐんま暮らしブランド化推進 | 99,813 | 群馬県の暮らしや子育て環境の魅力をPRし、子育て世代の移住を促進する。R8は親子でテレワーク移住体験推進事業を新たに2地域で実施するほか、子育て移住を希望する方が移住後の暮らしをイメージできるようウェブサイトでの情報発信を強化する。 | ぐんま暮らし・外国人活躍推進課 |